



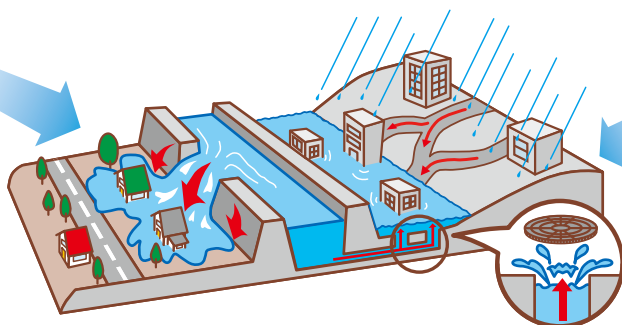
# 洪水・浸水害について

## ● 氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

### 外水 氾濫

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出す。

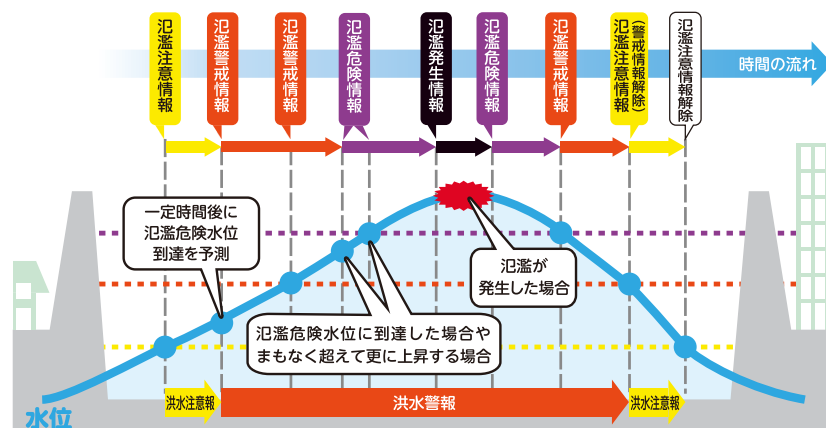


### 内水 氾濫

下水道・支川等の雨水排水能力を上回り浸水あるいは河川水位の上昇により、下水道・支川等から河川へ放流できず浸水。

## ● 河川の危険水位と洪水予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。自治体はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



| 河川名                | 古座川          | 古座川 | 關野川  | 田原川 |
|--------------------|--------------|-----|------|-----|
| 観測所                | 相瀬<br>(古座川町) | 古座橋 | くじ野川 | 出合橋 |
| 氾濫危険水位<br>(レベル4水位) | 5.5          | —   | —    | —   |
| 避難判断水位<br>(レベル3水位) | 4.5          | —   | —    | —   |
| 氾濫注意水位<br>(レベル2水位) | 3.5          | 2.5 | 1.6  | 1.8 |
| 水防団待機水位            | 2.5          | 2.0 | 1.3  | 1.4 |

## ● 避難行動のポイント、危険な場所

### 1. 情報の確認

- 雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。  
川の防災情報（国土交通省） <https://www.river.go.jp/>

### 2. 防災責任者の指示に従う

- 避難のときは警察・消防・地元の防災責任者などの指示に従って行動しましょう。独断での行動は大変危険です。

### 3. 動きやすい服装、集団での避難

- 避難するときは、動きやすい格好で、二人以上での行動を心がけましょう。

### 4. 避難時の歩き方

- 避難中はできるだけ浸水していない場所を歩きましょう。避難途中で危険を感じたら、自宅の二階以上や近所のビルに避難しましょう。
- 浸水している場合には下水道のマンホールや側溝等への転落のおそれがあり危険ですので注意しましょう。

### 5. 隣近所への呼びかけ

- お年寄りや子供、病気の人は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。情報伝達や避難場所をとりまとめておくと便利です。

### 6. 車での避難は危険

- 自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開けなくなったりして大変危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。

### 7. 橋や川の近くは危険

- 川が増水している場合には、川の流れが速く、橋が壊れたり流されたりして非常に危険ですので、近寄らないようにしましょう。

### 8. 川や用水路を見に行かない

- 大雨の時に、川や用水路の様子を見に行つたことで流されて被害に遭う場合があります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。

出典:国土交通省ウェブサイトを加工して作成



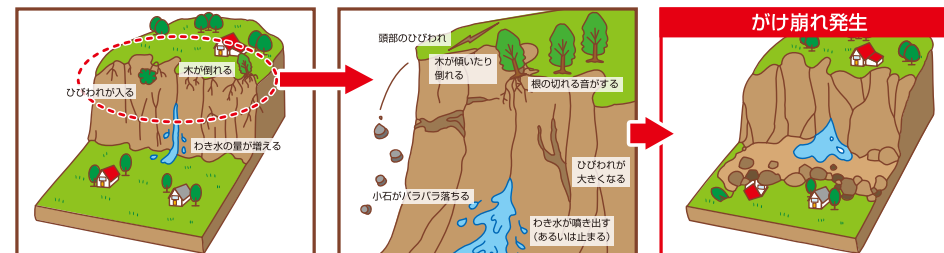
# 土砂災害について

## ● 土砂災害の種類

土砂災害は、大きく分けてがけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、土石流、地すべりの3種類に分類される。

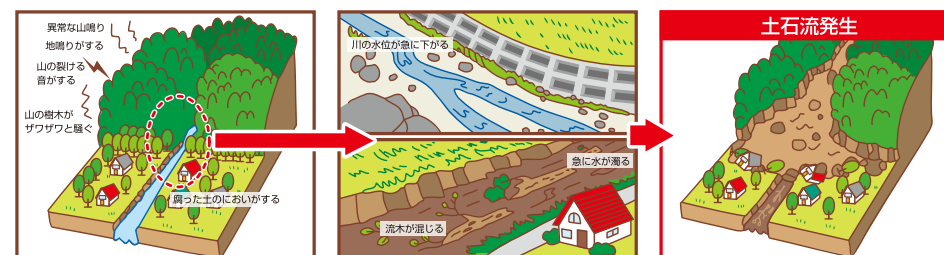
### がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

雨などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象。ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高い。



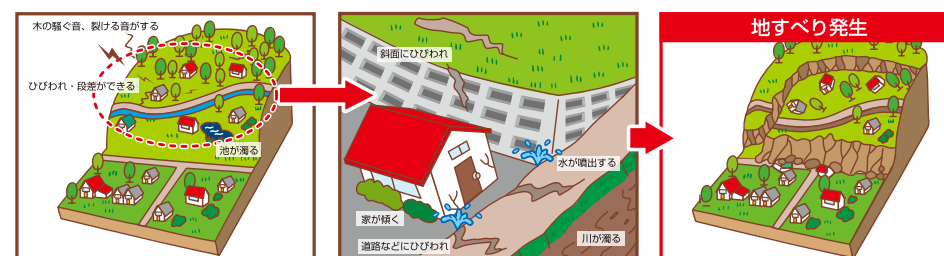
### 土石流

山腹や溪床を構成する土砂石礫の一部が雨などによって水と一体となり、一気に下流へ押し流される現象。流速 20 ~ 40km/h で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまう。



### 地すべり

斜面の土塊が地下水などの影響により、すべり面に沿ってゆっくりと斜面下方へ移動する現象。一般的に広範囲に及び移動土塊量が大きいため甚大な被害を及ぼす可能性が高い。



※ 上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## ● 土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

### 土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

### 土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## ● 避難行動のポイント

### 豪雨になる前に！

- お住まいの地域に土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当情報)が発表されたら、自治体からの警戒レベル4避難指示の発令に留意し、土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)などを参考にし、地域内の方々に声をかけあい近くの避難場所など、安全な場所に避難しましょう。特に、お年寄りや障がいのある人など避難に時間がかかる人や、夜中に大雨が想定される場合は、警戒レベル3高齢者等避難が発令されたタイミング等で早めに避難することがより安全です。
- 土砂災害の多くは木造の1階で被災しています。浸水などで避難場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上や、家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に移動しましょう。
- 普段から避難訓練に参加し避難に慣れていれば避難行動を起こしやすくなります。

出典：首相官邸ホームページを加工して作成